

3. まとめ

本章では、高等学校関係者と企業関係者の「情報公開」に対する意識について確認した。その結果、両者に共通して、「D 資格試験」「F 学修成果」に関する情報への関心の高さがうかがえた。

これらに加え、高等学校関係者は「B 教育方法・評価方法」「I キャリア支援」「K 学生募集」などへの情報公開への要望が多くみられた。自由記述では、総じて就職情報や退学率に関する情報の公開に関する記述が多かった。高等学校関係者の関心は、自校（高等学校）の生徒が専修学校進学時に必要な情報や、入学後の教育方法、退学防止や就職の支援に関する情報にあると推察される。

一方、企業関係者は「A 学校の目標・計画」「B 教育方法・評価方法」「C 実践的職業教育」といった教育内容に関係する項目を挙げる傾向があった。自由記述でも、「どのような内容の教育を行っているかが知りたい」「専門分野の教育内容、取得資格内容 教育取り組みの状況やキャリア教育等」といった教育内容や資格に関係する記述がみられた。企業関係者の関心は、専修学校の卒業生を採用するにあたってどのような教育を受けてきたのかがわかる情報にあると推察される。

また、両者ともに、「G 生活支援」「J 教育環境」「M 財務」「O 国際連携」の4項目に関する情報公開については比較的関心が低いことがうかがえた。

■高等学校関係者の「情報公開」に対する意識（自由記述）

※回答者が記入したままを表記しています。

Q4 専門学校が特に公開すべきだと思う情報はありますか。どのようなことでも構いませんので、ご意見やご要望があればご自由にお書きください。※Q3の内容に含まれるかどうかは問いません。
・入学してから卒業するまでに退学した人数・入試に対しての1ポイントアドバイスなど・この学校に入ったら、何パーセントの確率でこのような仕事につけるかなど
(1) 退学数 (2) 就職状況
・入学者数、卒業生数、就職内定率（内定／卒業）、進学率（進学／卒業）・書式をある程度、そろえて頂けるとわかりやすく、助ります。
公開というわけではありませんが、卒業生が退学したときは詳しく報告していただければ嬉しいです
在籍状況（前年度分在籍数、退学数）、進路状況（前年度分具体的な進路先）などに加えて生徒達のキャリア教育の活動内容
正確な就職率、就職先一覧等。卒業までにかかる全額費用。奨学金。
専門に直結した求人企業と職種。
退学率と就職率と就職先は、必須だと思います。
入試形式ごとの入学者数と資格取得後の卒業生数

■企業関係者の「情報公開」に対する意識（自由記述）

※回答者が記入したままを表記しています。

Q4 専門学校が特に公開すべきだと思う情報はありますか。どのようなことでも構いませんので、ご意見やご要望があればご自由にお書きください。※Q3の内容に含まれるかどうかは問いません。
どのような内容の教育を行っているかが知りたい（具体的）と思います。
学生の卒業後情况等、又は卒業生（社会人として活躍してる人）からの声。←出来る範囲このようなことを実施していただきたい。
財務的に基盤が安定しているか
資格試験に対する合格率
専門分野の教育内容、取得資格内容 教育取り組みの状況やキャリア教育等。

IV. 学校評価の結果を公表することについて

1. 高等学校関係者の「公開された情報の活用」に対する意識

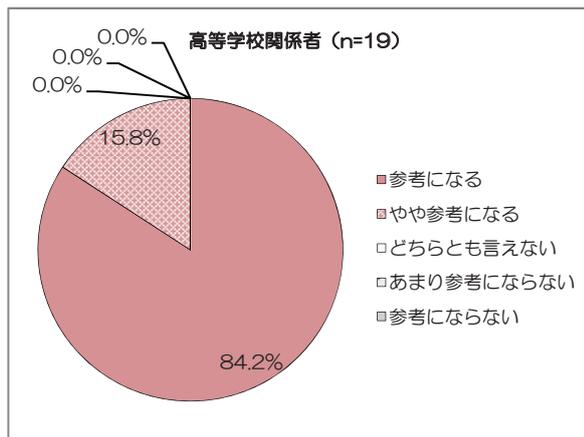
「公開された情報の活用」の項目A～Eのうち、比較的関心の高い項目である「A 生徒の進路指導を行う際」では、「参考になる」という回答が8割を超え、「やや参考になる」も合わせると10割に達した。「B 生徒のオープンキャンパス参加を検討する際」も、「参考になる」が6割を超え、「やや参考になる」も合わせると約9割となった。

一方、比較的関心の低い項目の中では、特に「E 学校協議会などへの専門学校関係者の参画を検討する際」は、「参考になる」が1割未満、「やや参考になる」の回答を合わせても約3割という結果であった。また、「D 専門学校教員を講師として受け入れる際」「C 専門学校と連携して職業体験学習を実施する際」は「参考になる」という回答が約1割、「やや参考になる」を合わせると前者は約4割、後者は約6割であった。

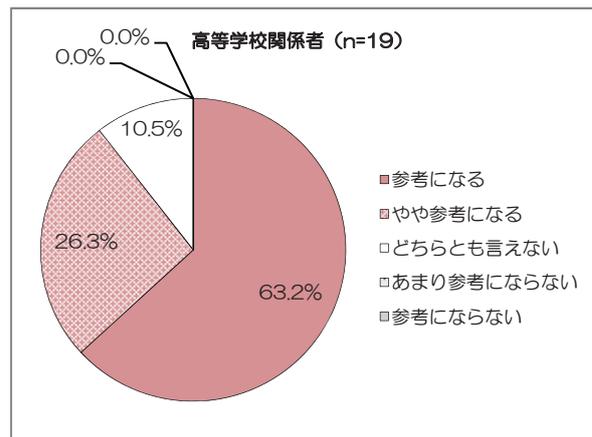
1) 「学校評価の結果」はどのような場面で参考になるか

- 質問文 「《質問3》, 《質問4》で回答したような情報は、高校が以下のことを行う際、高校にとってどの程度参考になりますか。」(単一回答)
- 質問番号 高等学校向け：Q5_A～E

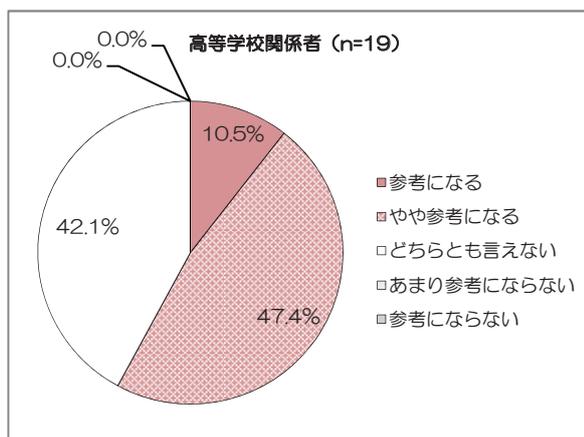
A 生徒の進路指導を行う際



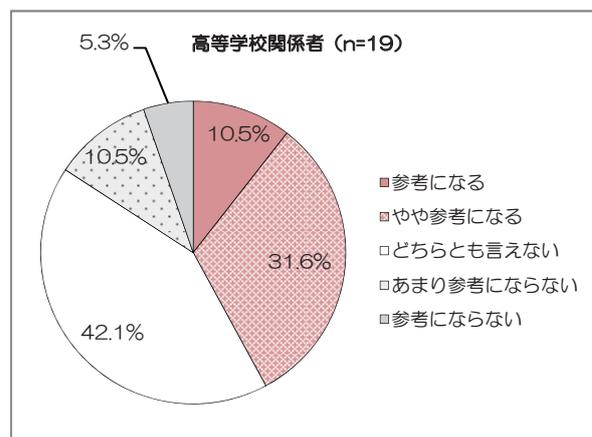
B 生徒のオープンキャンパス参加を検討する際



C 専門学校と連携して職業体験学習を実施する際

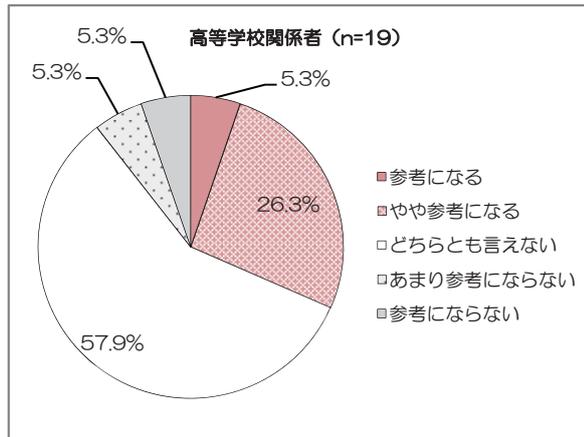


D 専門学校教員を講師として受け入れる際



- IV. 学校評価の結果を公表することについて
1. 高等学校関係者の「公開された情報の活用」に対する意識
1) 「学校評価の結果」はどのような場面で参考になるか

E 学校協議会などへの専門学校関係者の参画を検討する際



2. 企業関係者の「公開された情報の活用」に対する意識

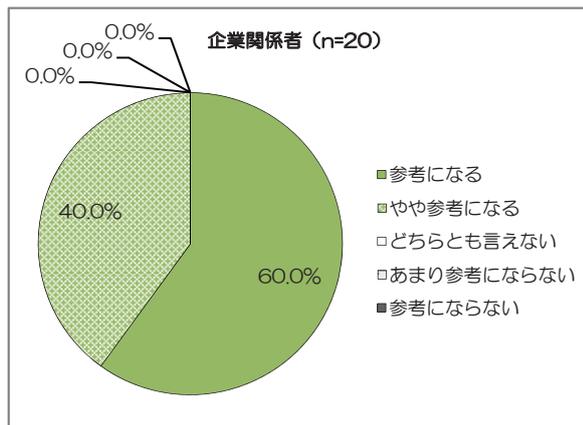
「公開された情報の活用」の項目A～Eのうち、比較的関心の高い項目である「A 専門学校生を採用する際」では、「参考になる」という回答が6割に達し、「やや参考になる」も合わせると回答者全員となった。「G 企業と専門学校が連携して専門学校のカリキュラムを開発する際」や「B 専門学校生のインターンシップを受け入れる際」は「参考になる」という回答がいずれも5割を超えており、「やや参考になる」も合わせると、前者は約8割、後者は9割に達した。また、「C 専門学校の授業へ講師を派遣する際」は「参考になる」が約4割、「やや参考になる」も合わせると8割半ばであった。

一方、比較的関心の低い項目の中では、特に「E 専門学校と連携した技術・商品・サービスなどを開発する際」は、「参考になる」と回答された比率が約1割しかなく、「やや参考になる」を合わせても6割弱であった。また、「D 専門学校教員に対する研修を実施する際」「F 専門学校教員による社員研修などを実施する際」は、「参考になる」がいずれも2割を超える程度、「やや参考になる」を合わせると前者が約8割、後者が8割半ばだった。

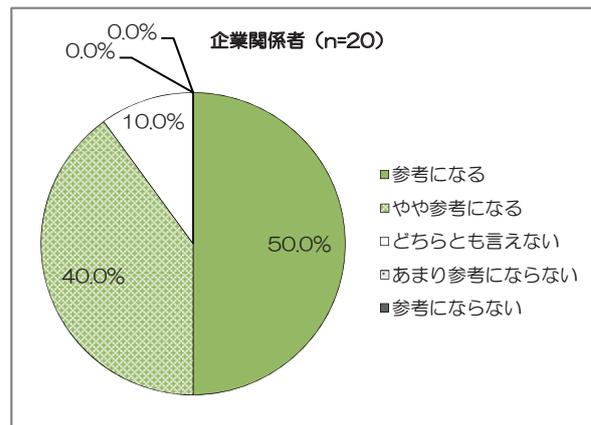
1) 「学校評価の結果」はどのような場面で参考になるか

- 質問文 「《質問3》、《質問4》のような情報は、企業が以下のことを行う際、企業にとってどの程度参考になりますか。」(単一回答)
- 質問番号 企業向け：Q5_A～G

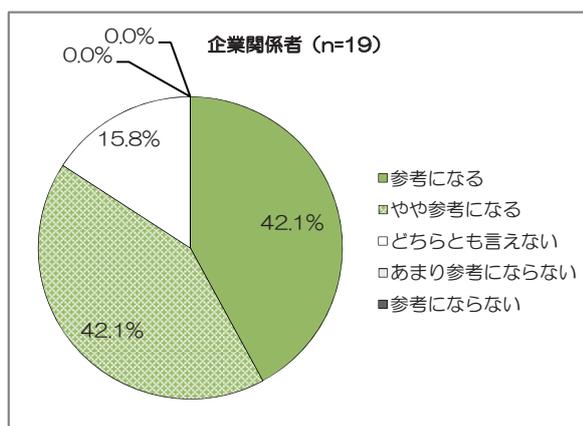
A 専門学校生を採用する際



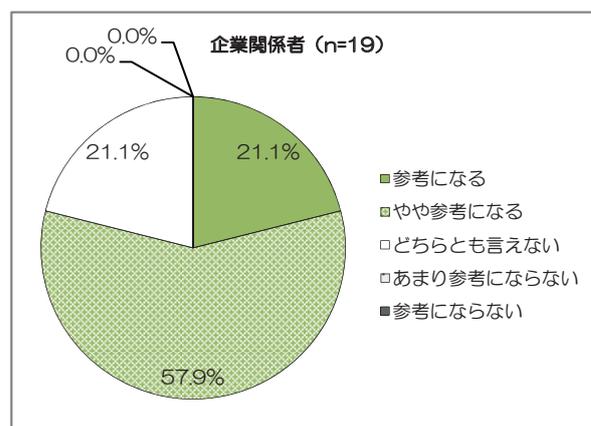
B 専門学校生のインターンシップを受け入れる際



C 専門学校の授業へ講師を派遣する際



D 専門学校教員に対する研修を実施する際

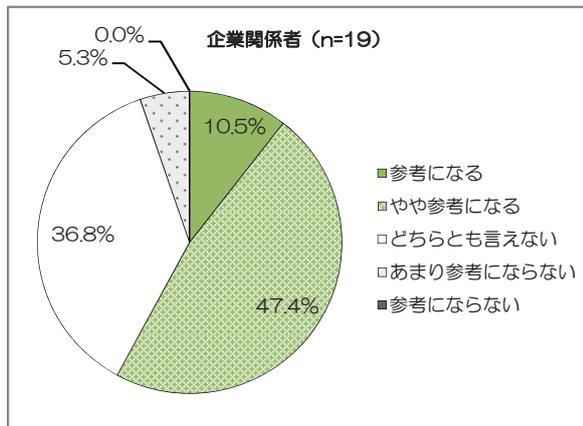


IV. 学校評価の結果を公表することについて

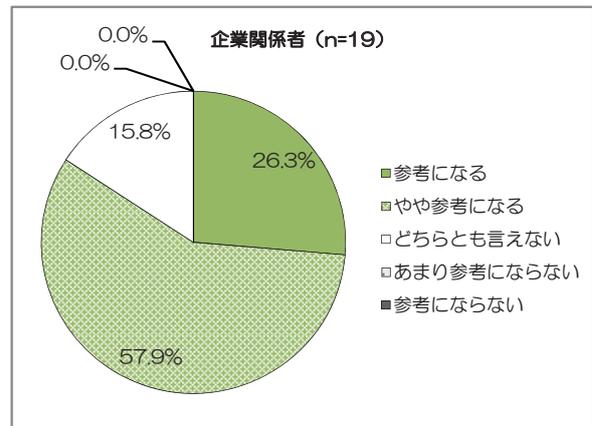
2. 企業関係者の「公開された情報の活用」に対する意識

1) 「学校評価の結果」はどのような場面で参考になるか

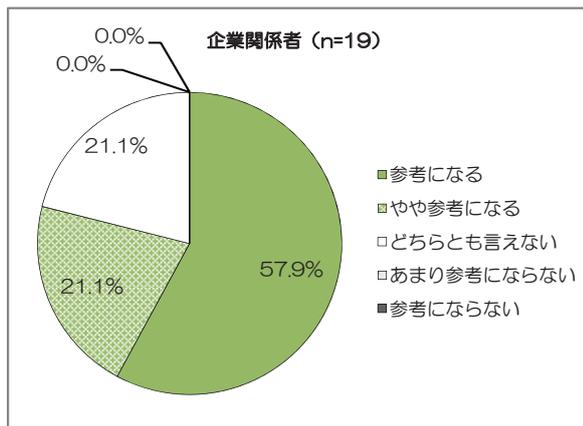
E 専門学校と連携した技術・商品・サービスなどを開発する際



F 専門学校教員による社員研修などを実施する際



G 企業と専門学校が連携して専門学校のカリキュラムを開発する際



3. まとめ

本章では、「公開された情報の活用」について、高等学校関係者と企業関係者がどのような場面で参考になると考えているかを確認した。その結果、選択式の設問と自由記述ともに、高等学校関係者は「進路指導」、企業関係者は「学生の採用」に関係する場面で役に立つと考えていることがうかがえた。

高等学校関係者は、「A 生徒の進路指導を行う際」や「B 生徒のオープンキャンパス参加を検討する際」といった進路指導に関係する場面で、公開された情報が「参考になる」と考える傾向にあった。自由記述をみても、「第一は生徒の進路指導にとって役立ちます。」「生徒の能力・適性・経済状況など、さまざまな観点から専門学校を選択に役立つと思われます。」というような、「進路指導に役に立つ」という趣旨の回答がほとんどであった。

一方、企業関係者は、「A 専門学校生を採用する際」「B 専門学校生のインターンシップを受け入れる際」「G 企業と専門学校が連携して専門学校のカリキュラムを開発する際」といった学生の採用や専門学校と連携したカリキュラム開発の協力に関係する場面で、公開された情報が「参考になる」と考える傾向にあった。自由記述をみても、「採用する学生の質向上に役立つものと理解」「自社に必要な人材を教育しているかの判断が可能となる」というような、「学生の採用に役に立つ」という趣旨の回答がほとんどであった。

■高等学校関係者の「公開された情報の活用」に対する意識（自由記述）

※回答者が記入したままを表記しています。

Q6 専門学校が学校評価や情報公開を行うことによって、高校はどのようなことに役立てたり参考にすることができますか。
一個人としては情報公開は学校を知るうえで大切なことですが、高校教員としては、卒業生の状況を詳しく知る方が、次の進路指導の参考になりやすいです。
共通の評価基準や公開内容があれば、生徒が選択に困った時に出して指導に役立てることができる。
現状のパンフレットやホームページに加えて、学校評価や情報公開を生徒や保護者に伝えることで、生徒達の進路指導（学校選択）に役立てたい。
受験校の選択
進路指導に役立てる
進路相談の参考になります。同業種の学校比較研究や、オープンキャンパスの際のアドバイス等に活用しています。
数多くある専門学校から進学先を決めることは、難しい。就職の実態やカリキュラム等の公開があれば、生徒指導に役立てられる。
生徒にアドバイスをするとき、とても役立つ。
生徒にとって合う合わないがあるので一概に学校評価が進路と直結することにはならないと思うが、生徒への周知という意味では大事な要素だと考えている。
生徒の進路指導に参考になる。
生徒の能力・適性・経済状況など、さまざまな観点から専門学校を選択に役立つと思われます。
生徒は、入りやすいところ、見た目におもしろそうなところを選びがちです。各専門学校から公開された情報が客観性をおびれば、選択のしかたも変わると思います。
生徒へのいろいろな選択を促すことができる。
生徒や保護者への進路指導
生徒面談の上での学校選びに役立つと思う。
第一は生徒の進路指導にとって役立ちます。
同じ資格が取得できる学校同士の比較ができ、よい学校とそうでない学校が正確に見分けやすくなる。

■企業関係者の「公開された情報の活用」に対する意識（自由記述）

※回答者が記入したままを表記しています。

Q6 専門学校が学校評価や情報公開を行うことによって、企業はどのようなことに役立てたり参考にすることができますか。
・求職時学生採用のポイントとして。・入学者の斡旋、紹介。
学校で取得した資格を特に重要視してみます。
学生さんを採用する時
教育環境が十分理解し把握が出来る。採用する学生の質向上に役立つものと理解。
教育方針や傾向を知る事ができ、学校を正しく理解する事に役立つ
採用の際に参考にする
採用を行う際、本当にその教育理念に沿って学生が育成されているか
採用時に役だつ。
採用人数の決定
自社に必要な人材を教育しているかの判断が可能となる
職員採用時の、判断根拠の1つとして参考としたいです。
専門学校がどのような専門性を持ち、どのような部分に力を入れているかを知ることで企業の採用に大きく影響する。
専門学校生の採用において事前にそれぞれの専門学校の特徴が把握でき、面接などにおいてもより具体的に詳細な質疑応答を行えるように思う。
専門学校生を採用する際の一つの資料として。
専門学生がどの分野が得意とするか、どのくらいの内容を実践してきたか。採用を考える時等
卒業生の技術・知識の修得程度。卒業生の社会的適応能力 学校の教育方針等

補記：その他自由記述

本調査では、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ章で確認した内容の他に、「専門学校に対する意見・要望」についても尋ねているため、ここに記載する。

■高等学校関係者の専門学校に対する意見や要望（自由記述）

※回答者が記入したままを表記しています。

Q7 専門学校に対する意見や要望などを、どのようなことでも構いませんので、ご自由にお書きください。
1学期の頃からAO入試の面接があるのは、高校側としては、生徒指導がやりづらくて、困っている。
AO入試でも、筆記試験をして、資格を取得する学力があるかどうかを見極めて欲しいと思います。そうしないと安易な学校選択に終わり中退者が増加すると思います。
AO入試の時期が早すぎると思います。
AO入試の方法や納入金の期限が各校バラバラで理解しにくいので、統一してほしい。
あまり早期に、合格内定等を出さないようにしていただければありがたいと思います。
オープンキャンパスや学校説明会の時点では、生徒達も具体的な質問が定まらずイメージ先行で受験して入学している現状がある。また、AO入試等で早期決着の機運が強いため高校生が十分に進路先を把握する以前に対応しなければならぬ実情を解決したい。
とにかく、生徒を集めることだけに集中しないで、ミスマッチのないようにじっくり考えさせて欲しい。又、同業種の他の学校へのオープンキャンパス参加も勧めて欲しい。学校に自信があれば当然のことと考えます。
一部の専門学校で、オープンキャンパスに訪れた生徒を囲い込むようにAO入試の受験をすすめるところがある。そのような学校ほど、あとで生徒から「思っていた様子と違う」と不満が出る。生徒一人一人の進路を真剣に考えるのなら、もっとじっくりとした進路選びをさせてほしい。
近年特に経済的な理由で進学をあきらめる生徒が増えています。学校独自の奨学金制度があれば、指導の参考になります。
現在の社会状況から、大学へ行って就職という既存のルートではなく、いわゆる「役に立つ技術」を身につけようとする生徒が、増えつつあります。そういった意味で専門学校の果たす役割は大きいと考えます。
将来、社会の中での有用性。専門的な技能・技術が今後社会にどのような役に立つのかを示して頂きたい。
難しいことではあると思いますが就職した卒業生の離職率や、その後のうごきがわかれば教えていただけたらと思います。
入学手続き開始時期をせめて9月1日以降にしてほしい。

■企業関係者の専門学校に対する意見や要望（自由記述）

※回答者が記入したままを表記しています。

Q7 専門学校に対する意見や要望などを、どのようなことでも構いませんので、ご自由にお書きください。
若く専門性を持った人材は企業にとっては、戦力につながりやすい。これからも頑張って若人を育ててほしい
受験時に於ける適性調査
授業時間数のこともあるかと思いますが、人間教育や社会人教育のカリキュラムを組み込んでいただけたらと思います。（3年制教育多いに結構）
人事の経験が浅く専門学校については1校のみを深く知るものですが皆さん生き生きと勉学に励んでおられるし、教員の方との信頼関係も厚いと感じています。卒業生も数名就業していますが皆さん優秀な者です。
全入の時代に、専門性を発揮して、早期のスペシャリスト育成の近道と信じています。浅く広く習学することで入社後の指導方法も変わります。仕事に対する取組み姿勢が良い。
大学と専門学校の違いが、明確になってきていない傾向にあると思います。もちろんどちらも教育機関であると思いますが、人材の育成や、技術者の養成としての役割を担っても、よいかと思います。
服装や身だしなみ、それと言葉使い等を特にチェックしていただきたい。

補記：調査票

■高等学校関係者向け調査票

1

【学校評価について】

教育の質の維持・向上のための専門学校における学校評価の評価項目についてお聞きします。あなたは、以下のそれぞれの項目について、どの程度評価すべきだと感じますか。

必ずしも高くなくも

できるだけ高く

あまり高くなく

決して高くなく

それなりに1つだけ

A 「理念・目的・人材育成」について
理念・目的、人材育成などの適切な設定、関係者への周知、業界からのニーズの反映など 1 - 2 - 3 - 4

B 「学校運営」について
理念・目的に沿った運営方針・事業計画・規則・組織などが整備され、有効に機能しているか 1 - 2 - 3 - 4

C 「教育方法・評価方法」について
カリキュラム、教材といった授業方法や、成績評価の基準に関する体制・しくみなど 1 - 2 - 3 - 4

D 「実践的職業教育」について
インターンシップ・実技・実習など、実践的な職業教育の観点に立った工夫や開発 1 - 2 - 3 - 4

E 「資格取得」について
資格取得などに関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか 1 - 2 - 3 - 4

F 「教職員」について
教職員の人数・体制・専門性や、教員の質向上への取り組みなど 1 - 2 - 3 - 4

G 「学修成果」について
資格取得・就職率の向上や退学率の低減、卒業生の活動やキャリア形成の把握など 1 - 2 - 3 - 4

H 「生活支援」について
学生相談・健康管理・経済的支援などが適切に行われているか 1 - 2 - 3 - 4

I 「キャリア支援」について
在校生の進路・就職状況や、卒業生への支援体制など 1 - 2 - 3 - 4

J 「教育環境」について
学内外の施設の整備や学生の課外活動の支援体制、防災対策への取り組みなど 1 - 2 - 3 - 4

K 「学生募集」について
学生募集活動が適正に行われているか、高校などに情報提供を行っているか 1 - 2 - 3 - 4

L 「学生納付金」について
学生納付金の徴収や納入時期が適切か 1 - 2 - 3 - 4

M 「財務」について
財務基礎の健全性や予算・収支計画の妥当性、適切な会計監査や情報公開の体制整備など 1 - 2 - 3 - 4

N 「法令の遵守」について
法令の遵守や、個人情報保護、適正な運営や、自己評価の実施、評価結果の公開など 1 - 2 - 3 - 4

O 「社会貢献・地域貢献」について
社会・地域への貢献や、学生のボランティア活動の支援などを実施しているか 1 - 2 - 3 - 4

P 「国際交流」について
留学生の受け入れ・派遣に関する進捗や体制が適切か 1 - 2 - 3 - 4

■ 評価すべき項目として、特に重要だと感じるものは何ですか。
上記A～Pの中から3つ選び、以下にそのアルファベットを記入してください。

() () ()

2

専門学校における「学校評価」の内容や方法などについて、ご意見やご要望があればご自由にお書きください。

平成25年度文部科学省委託事業「学校評価ガイドラインに基づくモデルの開発・実証」
高校向け

「専門学校の学校評価」に関するアンケート
2013年11月

「学校評価ガイドラインに基づくモデルの開発・実証」
企画実施委員会

アンケートのお問い合わせ先

このアンケートは、専門学校における学校評価のあり方や評価項目、情報公開のあり方やその内容などについて、専門学校生に聞きたいことのある高等学校および就職先企業の意識にご意見をうかがい、社会の要請にお応えする「学校評価運用マニュアル」を作成するためのものです。
ご多用の中お手数ではございますが、是非ご協力をお願いいたします。

■ 「学校評価」「情報公開」とは…
社会の様々な領域において、組織の評価制度や情報公開のあり方が注目されています。平成19年の学校教育法および同施行規則の改正により、専門学校も、①自己評価の実施・結果の公表に関する義務、および②学校関係者評価の実施・結果の公表に関する努力義務が課されることになりました。
専門学校は今や生徒に対して教育の質保証・向上を図ることも、社会に示してもより大きな説明責任が求められ、学校評価・情報公開などへの適切な対応がますます必要とされています。このよきな流れを受け、文部科学省より平成25年3月「専門学校における学校評価ガイドライン」が策定されました。特に学校評価については、「自己評価」「学校関係者評価」「第三者評価」の3つが定義されています。

※このように、「学校評価」は評価主体が3通りありますが、今回のアンケートでは評価主体を限定せず、専門学校はそれぞれどのような観点から評価されるべきかということを調査します。社会の要請を反映する「学校評価」のあり方を考えるために、是非皆様のお声をお聞かせください。

■ 「学校評価運用マニュアル」とは…
上記「ガイドライン」に基づく学校評価・情報公開を支援するために、「学校評価ガイドライン」に基づくモデルの開発・実証」企画実施委員会が、大阪府/一般社団法人大阪府専門学校各種学校各種学校連合会を主体として設置されました。本委員会は、この「ガイドライン」に基づく学校評価の実証結果や、高校・産業界からの専門学校に対する要望を踏まえた「学校評価運用マニュアル（専門学校版）」の開発を行うことを目的としています。

アンケート記入上の注意

アンケートのお答えはコンピュータにより随時処理いたします。また、アンケートの結果は、上記の目的以外は一切使用しません。皆様にご迷惑をおかけすることはございませんので、ありのままをお答えください。

- ・ あまり深く考え込まずにお答えください。（アンケートの所要時間は約10分です）
- ・ それぞれの質問の指示に従って、記入されないように数字に○をつけてください。

お問い合わせ先

一般社団法人 大阪府専門学校各種学校連合会 事務局
住所 〒534-0026 大阪府都島区綱島町16-20私学会館内
電話 06-6352-0048
FAX 06-6352-7553
E-Mail avoscsk1@kisweb.ne.jp



【情報公開について】

3 高校にとって役立つ情報として（生徒の進路指導を行う際など）、専門学校がどのような情報を公開するべきだと感じますか。以下のそれぞれについてお答えください。

それぞれに1つだけ

必ず公開する 公開する 公開しない 必要ない しない

- A 「学校の目標・計画」に関する情報
B 「教育方法・評価方法」に関する情報
C 「実践的職業教育」に関する情報
D 「資格試験」に関する情報
E 「教職員」に関する情報
F 「学修成果」に関する情報
G 「生活支援」に関する情報
H 「経済的支援」に関する情報
I 「キャリア支援」に関する情報
J 「教育環境」に関する情報
K 「学生募集」に関する情報
L 「学生納付金」に関する情報
M 「財務」に関する情報
N 「学校評価」に関する情報
O 「国際連携」に関する情報
P 「学校の概要」に関する情報

4 専門学校が特に公開すべきだと認める情報はありますか。どのような情報でも構いませんので、ご意見やご要望があれば自由に書込んでください。

Blank area for handwritten responses to question 4.

【学校評価の結果を公表することについて】

5 《質問3》、《質問4》で回答したような情報は、高校が以下のことを行う際、高校にとっての程度参考にありますか。

それぞれに1つだけ

必ず公表する 公表する 公表しない 必要ない しない

- A (高校で) 生徒の進路指導を行う際
B (高校で) 生徒のオープンキャンパス参加を検討する際
C (高校で) 専門学校と連携して職業体験学習を実施する際
D (高校で) 専門学校教員を講師として受入れる際
E (高校で) 学校協議会などへの専門学校関係者の参画を検討する際

6 専門学校が学校評価や情報公開を行うことによって、高校はどのようなことに役立てたり参考にすることがありますか。

Blank area for handwritten responses to question 6.

7 専門学校に対する意見や要望などを、どのようなことでも構いませんので、ご自由にお書きください。

Blank area for handwritten responses to question 7.

8 学校名と回答者氏名をご記入ください。

※「学校名」「回答者氏名」は内容に不明点があった際の連絡用としてのみ使用いたします。アンケートの対応先はコンピュータにより随時的に変更するなど、個別の学校や回答者が特定できない形で利用いたします。

学校名： 回答者氏名：

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

「学校評価ガイドラインに基づくモデルの開発・実証」企画実施委員会

■企画実施委員

福田益和	一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会	理事長
重里徳太	一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会	副理事長
宮川藤一郎	一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会	振興対策委員長
前川悟	一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会	副理事長
廣田雅美	大阪商工会議所	人材育成部人材育成担当課長
八木秀泰	応用社会心理学研究所	CI事業部長兼調査研究プロデューサー
久才知洋	大阪府府民文化部私学・大学課	総括主査
尾崎輪香子	大阪府商工労働部雇用推進室就業促進課	総括主査
上條藤夫	大阪府高等学校進路指導研究会	会長
北尾元一	大阪私立高等学校進路指導研究会	会長

■実証分科会委員

◎大阪工業技術専門学校

伊東和幸 浜野哲二 吉松秀典 宗林功 善才雅夫 村上登昭 吉田裕彦

◎日本分析化学専門学校

佐藤智子 藤井隆志 中山大 尾崎信源 渡邊快記 塚本昌己 溝田美和

◎東洋医療専門学校

宮川藤一郎 古谷圭司 杉田順弘 真田浩二 豊田日出夫 辻坂圭央 久継茜

◎大阪技能専門学校

千代田秋充 三浦慎也 畑名利香 宮本勉 有末武史 松長邦彦 大工松平

■事業実施協力機関等（検証、マニュアル策定に当たっての助言等）

公益社団法人静岡県職業教育振興会

一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会

〒534-0026 大阪市都島区網島町6番20号

TEL06-6352-0048 FAX 06-6352-7553

<http://osaka-senkaku.or.jp>